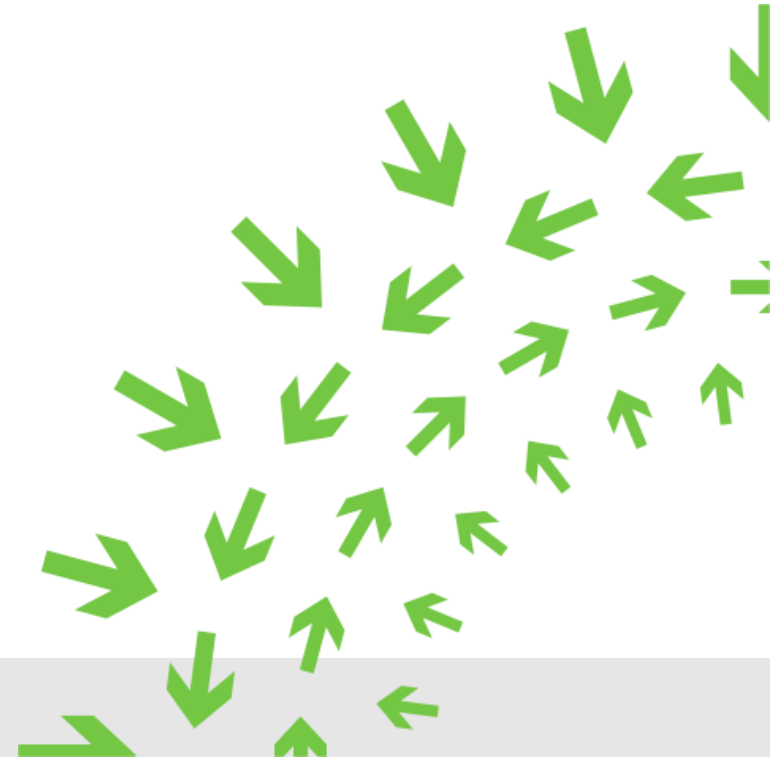




OPEN
Compute Project

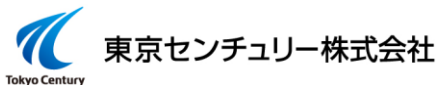
OCPJの活動計画

オープンコンピュートプロジェクトジャパン
副座長
小泉 利治



OCP-Japan Members-1

(as of July 09, 2018)

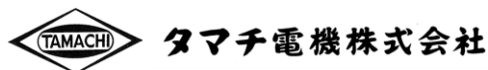


142 Companies/16 Individuals / 308Members



OCP-Japan Members-2

(as of June 09, 2018)

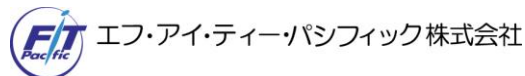


142 Companies/16 Individuals / 308 Members



OCP-Japan Members-3

(as of June 09, 2018)



142 Companies/16 Individuals / 308Members



OCP-Japan Members-4

(as of June 09, 2018)



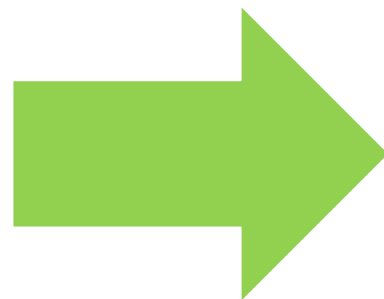
東京センチュリー株式会社



2017年4月

116

Companies



2018年6月

142

Companies

142 Companies/16 Individuals / 308 Members



日本DC導入時のOCPの課題(2016年)



ドアがない

セキュリティ上ドアが必要

耐震性能

OCP仕様では3連結でNEBS L3をクリア。日本では単体でNEBS Lv3もしくはNTT耐震基準のクリアが必要になるケースが多い

電源が特殊

OCPは3相200V
US&EU CS8365N / CS8364N
が標準。単相200V NEMAコネクタ
の要望が多い



サイズが特殊

Open Rackのサイズは
2,220mm x 600mm x 1,066.8mm
何が標準なのか？も微妙ではあるが、
2,220mmは高すぎる？

高価！

いくらHWのコストを抑えても、
ラックの価格が高すぎる

2016年時点での課題は解決！

Open Rack

- Open Rack v2
- seismic qualification (planning)



Power Supply

- Single phase 200V, 3phase 200V, HVDC
- Battery backup unit (BBU) option



機器搭載済ラックの搬入



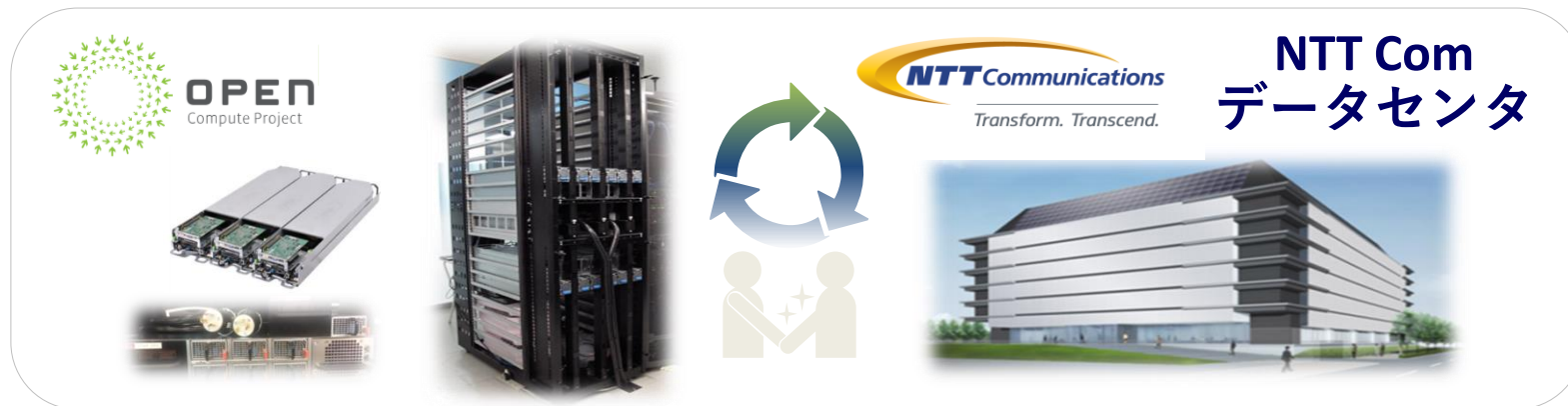
OCPの基本：機器搭載済みラックの搬入



- 迅速かつ容易な導入
- 搬入設置から機器稼働までの作業工程を短縮
- 電源接続のみ



NTTコミュニケーションズ DC



OCP on FIT Floor



OCP導入方法

1. キャスタ付きのラックでマシンエリアに搬入
2. サーバルームにて、キャスタレベルフットを取り外し
3. ハンドリフトとジャッキを使ってブラケットに乗せて固定



日本でもOCPを採用できる環境が整いつつある

新たなWGを立ち上げます！

OCPJとしても日本国内でのOCP採用を後押ししたい

日本国内でOCPベースの
次世代クラウド基盤を作ろう！

日本国内でOCPベースの次世代クラウド基盤を作ろう！ プロジェクト概要書(案)

項目	概要
1.プロジェクトの目的と背景	グローバルにはハイパースケールデータセンターやスケラブルシステムユーザーを中心にOCPデザインの採用が進んでいるが、日本ではなかなか進まない。日本でのOCPの適用、技術的面、運用面での要件、課題を整理し、国内でのOCPベースの次世代クラウド基盤の構築と運用保守の手引きを作成し、ユーザーの利益に貢献する。
2.プロジェクトの最終成果物	プロジェクトの目的を達成するために、必要な検討WGを決定し、そのWGごとに検討を行い、その結果を日本におけるOCPシステム構築・運用保守ガイドブックとして取りまとめ出版する。
3.スケジュールの概要	8/Eまで:プロジェクト及びWG発足 9~11月:WGごとの検討 12/Eまで:WGの成果物を文書にまとめる 2019/1~2月:出版物の検討 2019/3:OCP Summitで発表
4.プロジェクト遂行の考え方	1)WGへの参加希望者を募り、WGリーダーを決定し、WGの検討・アウトプットスコープとスケジュールを決める。 2)全体をプロジェクトリーダーが取りまとめる。 3)メンバーへはボランティアとして参加する。 4)著作権はOCP Japanが保有し、OCPJメンバーは成果物を使用できる。

日本国内でOCPベースの次世代クラウド基盤を作ろう！ プロジェクト WG(案)

WG	内容(案)
1.OCPの適用検討WG	OCPのメリット、適用範囲を考える。 ・ Facebook Case Study 事例 ・OCPのメリット ・適用領域
2.データセンタファシリティWG	・給電方式:HVDC、単層、三相 ・冷却方式:エコ(外気)、水冷(リアドア、ラック冷却)、液浸 ・UPS:今まで通り、HVDCとの連携、ラック内バッテリー ・データセンタマネージメント(温度、湿度、電力の管理) ・高火力、高発熱対応
3. OCPの機器調達から導入保守まで考えるWG	・機器調達 :ODMからの調達、パーツの調達 ・導入 :L11プロセス、データセンタ搬入設置 ・保守メンテナンス:障害監視、リペアパーツの管理、交換対応 ・OSの認証取得/ドライバーの改修依頼/セキュリティー情報の入手/ EOS EOSLなどの対応/自営保守、メーカ保守の条件や気にするポイント/ 自動化ツールの入手方法、選定方針/保守パーツの維持管理/ パーツ選定のチェックポイント
4.クラウド基盤管理を考えるWG	・機器の管理(アセット管理) ・環境構築の自動化(ネットワーク、サーバ、ストレージ)

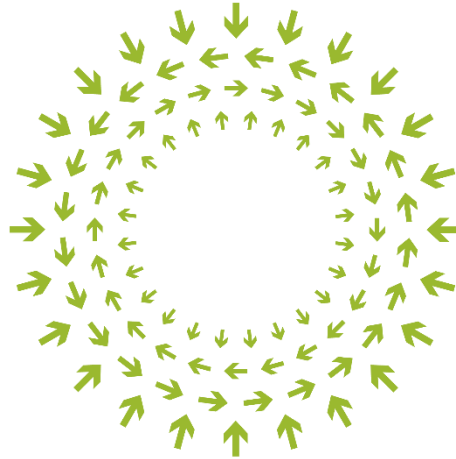
*WGと内容は決定ではありません。今後の検討で決定されます。

日本国内でOCPベースの次世代クラウド基盤を作ろう！

プロジェクト スケジュール(案)

	7	8	9	10	11	12	1	2	3
OCP in JPN PRJ提案	▲								
メンバー募集 Kick-off		-----▲							
PRJ/WG発足 リーダー/メンバー			▲						
WGごとの検討 スコープ /output			▲-----▲						
Output説明会						▲			
出版化の検討・決定/ 出版				-----▲				▲	
OCP Summitでの発表									▲

Change the world!



OPEN
Compute Project
Japan

<http://www.opencomputejapan.org>